

PROMASTER *TONER ON*
Technical Manual

テクニカルマニュアルについて

サロンカラーリングならではの提案に、 プロマスタートナーオンが活躍します。

本マニュアルでは、サロンワークのさまざまなシーンで活躍するプロマスタートナーオンの使用例をご紹介します。

色素補充(トナー)というお客様のニーズに応え、

いまやサロンカラーリングのスタンダードとして定着した「プロマスタートナーオン」。

既染毛のお客様に対し、ダメージレスにきれいなヘアカラーを提案したいと考える全国のサロンにおいてサロンワークに欠かせないアイテムとなっています。

褪色した髪に、デザインカラーで、より効果的にプロマスタートナーオンをご活用いただくことでサロンカラーリングの可能性は、ますます広がっていきます。

PROMASTER TONER ON

既染毛対応のトナー専用微アルカリタイプのヘアカラー。

毛髪表層付近へ色素が定着するので

光の乱反射が少なくなり、ツヤが高まります。

また、施術時間が短いのでお客様への負担も少なく

サロンカラーリングのさまざまな場面で活用できます。

トナーオンとは



色素補充する酸化染毛剤



医薬部外品

- p2 プロマスタートナーオンの活用例
- p3-6 プロマスタートナーオン ケーススタディ ○トナーオンカラー
 - カラーオントナー
 - 色素補充
- p7 ミックスガイド ○CL-tミックス
- p8 ○N系ミックス
- p9 プロマスタートナーオンの基本的な使用方法
- p10 プロマスタートナーオン テクニカルポイント／プロマスタートナーオン Q&A

プロマスター トナーオンの活用例

プロマスター トナーオンの使用場面はさまざま、サロンの自由な発想でその可能性は大きく広がります。下図ではその代表的な例を紹介していますので、プロマスター トナーオン使用時の参考にしてください。

トナーオンカラー

ヘアカラー → トナーオン

ヘアカラー後の髪に、色と色の重なりによる立体感を表現し、ツヤのある質感に仕上げます。1剤のミックスでつくる色とは違った仕上がりを表現することができます。

デザインカラー → トナーオン

ハイライトなどデザインカラー後の髪に、ツヤ感を高めながら色味を強調したりなじませたりし、デザインカラーの質感を高めます。

カラーオントナー

トナーオン → ヘアカラー

ムラに褪色しているヘアカラー前の髪に、アンダーレベルの状態をあらかじめ整えるなど、目的の仕上がりを得やすくします。

色素補充

褪色した髪に、トナーオン

褪色してきたが本格的に染めるにはまだ早い髪や、パーマ後褪色してしまった髪に、ヘアケア感覚で色素補充ができ、色持ち感を向上させます。

◎プロマスター EX シリーズ(プロマスター EX、プロマスター EX ライトレベル、プロマスター EX ピグメント)とも組み合わせてご活用ください。

PROMASTER EX



全77色+LT(脱色剤) 医薬部外品

PROMASTER EX Light Level



全7色+LT/H(脱色剤) 医薬部外品

PROMASTER EX Pigment



全63色+CL(クリア) 医薬部外品

- N(ナチュラル)系+色相環という色構成が計算通りの発色を実現し、多彩な髪色が表現できます。
- アルカリタイプと色が連動した微アルカリタイプを使いわけることで、ダメージレスなヘアカラーリングを実現します。
- ファッションシェードとグレイシェードの区別がなく、幅広いお客様に自由な発想で髪色を提案できます。

■使用上の注意

- ヘアカラー・脱色剤(医薬部外品)は、「使用上の注意」をよく読んで正しくお使いください。

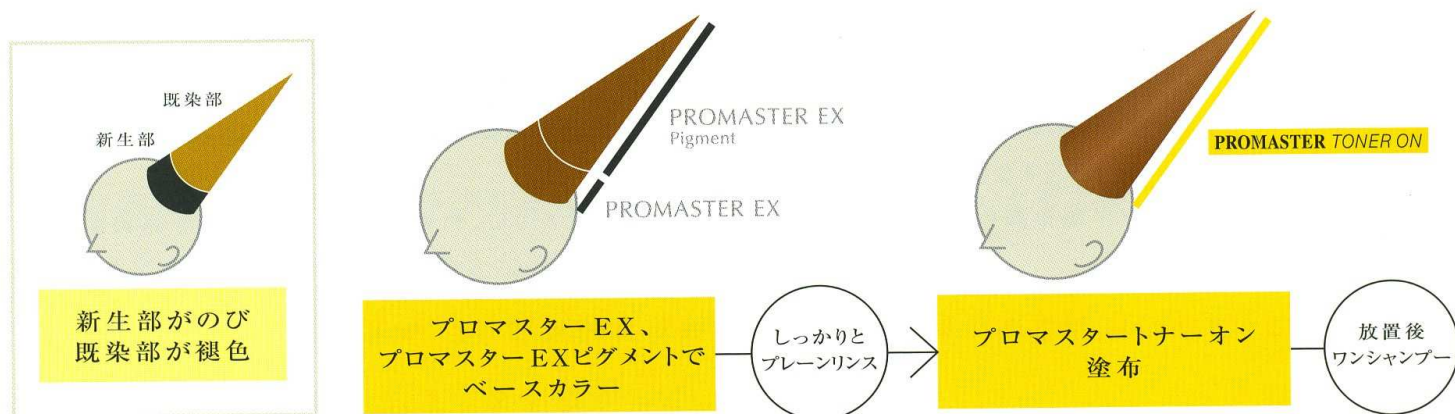
プロマスター トナーオン ケーススタディ

それぞれの活用例には他にもさまざまなケースがあります。組み合わせやテクニックの参考にしてください。

トナーオンカラー

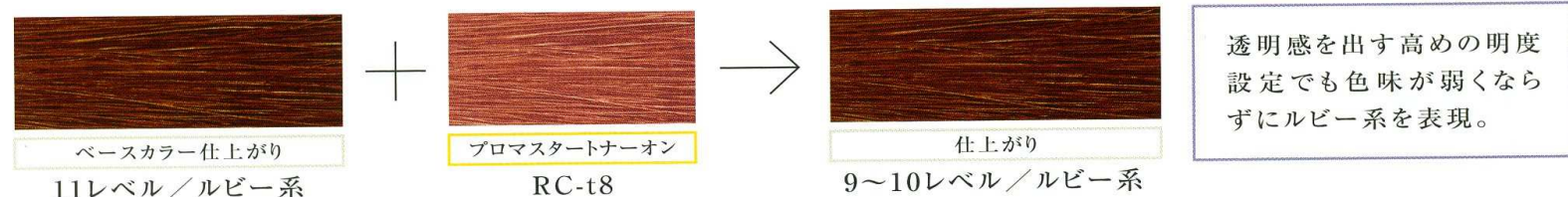
ヘアカラー → トナーオン

プロセス

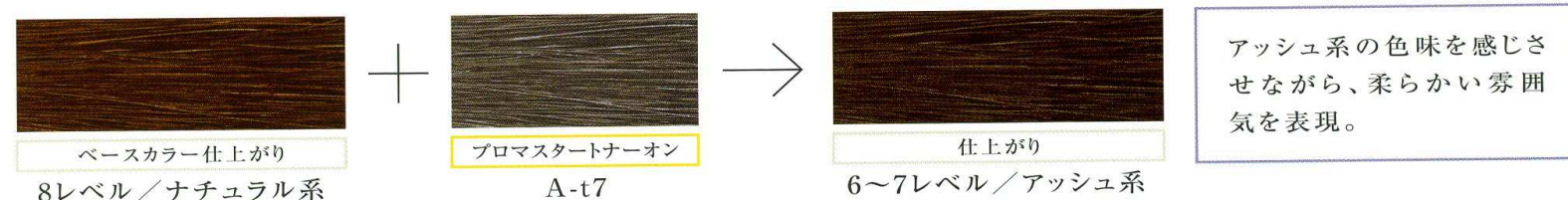


プロマスター EXやプロマスター EXピグメントを使用したヘアカラーベースへ、プロマスタートナーオンを施術することで、色の重なりによる立体感や独自の質感を表現できます。トナーオンカラーの効果は、1剤のミックスでつくる色とは違った仕上がりを表現することができます。

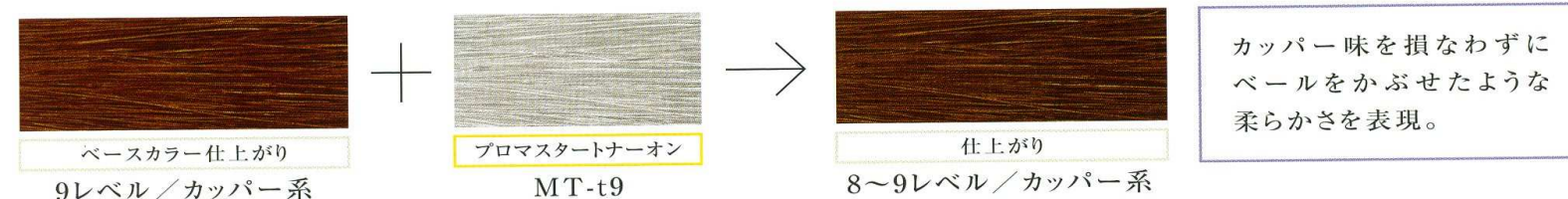
同系色を重ねて強さや深みのある色味を表現



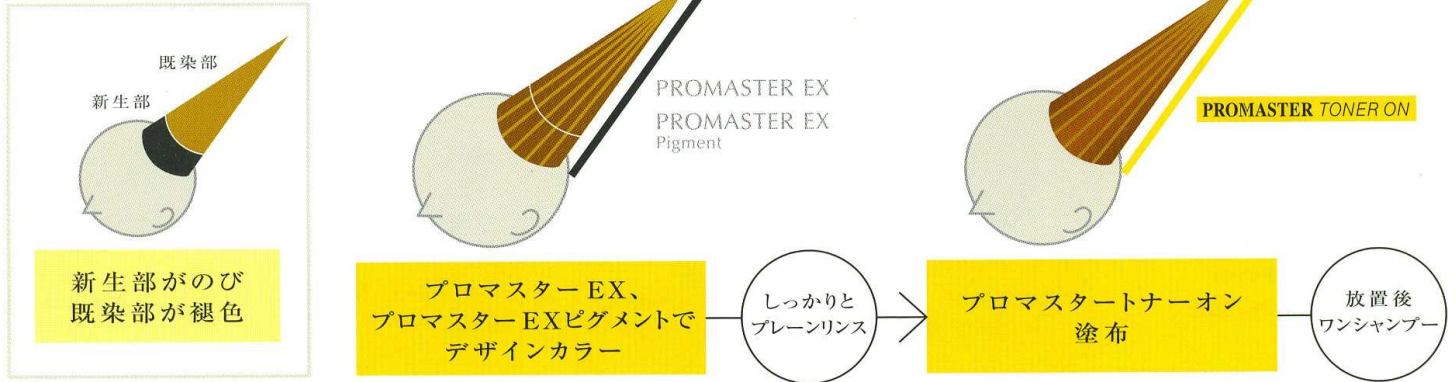
ナチュラル系に色味を重ねて柔らかい仕上がりを表現



異なる色相を重ねて色味の質感を表現



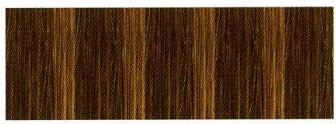






プロセス



プロマスターEXやプロマスターEXピグメントを使用したハイライト、ローライトなどのデザインカラー後、プロマスタートナーオンでツヤ感を高めながら色味を強調したりなじませたりし、デザインカラーの質感をより楽しめます。








質感を調節

ツヤ感を高めながら、ハイライト部分とベース部分の色の質感を整えます。明度差が少なめのハイライトへ、淡く柔らかい9トーンラインを使用した例です。

 デザインカラー仕上がり	+	 プロマスタートナーオン N-t9	→	 仕上がり	<p>明度差と色相が軽くなじみ落ちついた仕上がり。</p>		
 ベース 8レベル		 ハイライト 11レベル	+	 プロマスタートナーオン MT-t9	→	 仕上がり	<p>ベールをかぶせたような柔らかさで、全体の色調が調和した仕上がり。</p>

ハイライト後の色味を調節

ツヤ感を高めながら、ハイライト部分を色味で強調したりなじませたりします。明度差の大きいハイライトへ、深みや落ちつきを与える7トーンラインを使用した例です。

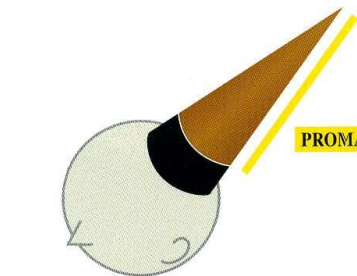
 デザインカラー仕上がり	+	 プロマスタートナーオン RV-t7	→	 仕上がり	<p>ハイライトの黄味を抑えながらしっかりとしたルビー系の仕上がり。</p>		
 ベース 8レベル		 ハイライト 13レベル	+	 プロマスタートナーオン	→	 仕上がり	<p>明度差がなじんで柔らかく自然なアッシュ系の仕上がり。</p>

カラーオントナー トナーオン → ヘアカラー

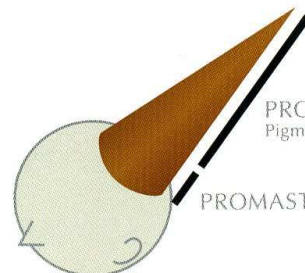
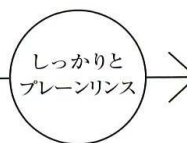
プロセス



新生部がのび
既染部がムラに褪色



プロマスタートナーオンで
既染部を調整



プロマスター EX、
プロマスター EX ピグメントで
ヘアカラー

放置後
ワンシャンプー

ムラに褪色している毛髪のアンダーレベルをプロマスタートナーオンであらかじめ調整しておくことにより、プロマスター EX やプロマスター EX ピグメントで目的とする仕上がりを得やすくします。

ヘアカラー前にアンダーレベルの状態を整える



場所によってアンダーレベルの
状態が異なる



プロマスタートナーオン
N系



明度差がなじみ、目的の仕上がりが
得られやすくなる



その後、新生部はプロマスター EX、既染部はプロマスター EX ピグメントでヘアカラー

薬剤選定の目安

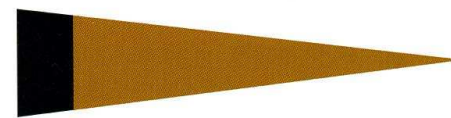
プロマスタートナーオンのナチュラル系はそれぞれ、ブラウンをベースとした色相設定なので、アンダーレベルの明度差をなじませる効果があります。アンダーレベルの明度や色味に応じて、使い分けてください。



アンダーレベルに赤味が足りない場合



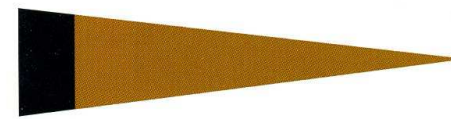
プロマスタートナーオン
Nc-t7



アンダーレベルに赤味が残っている場合

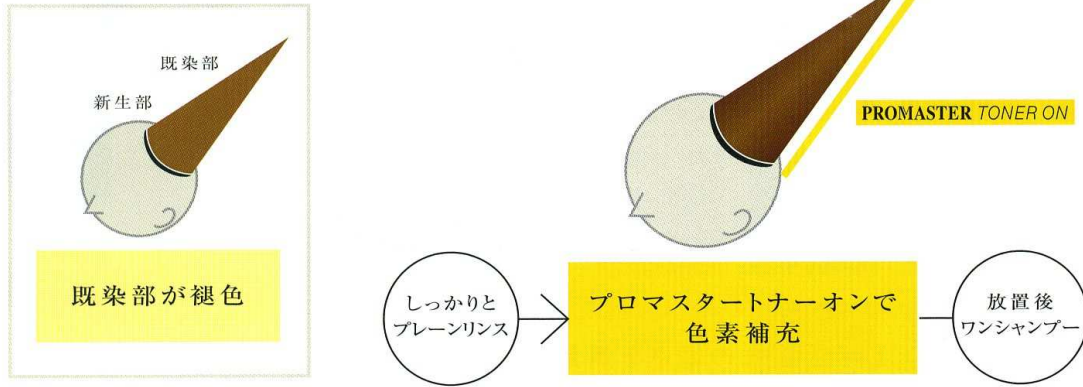


プロマスタートナーオン
N-t7



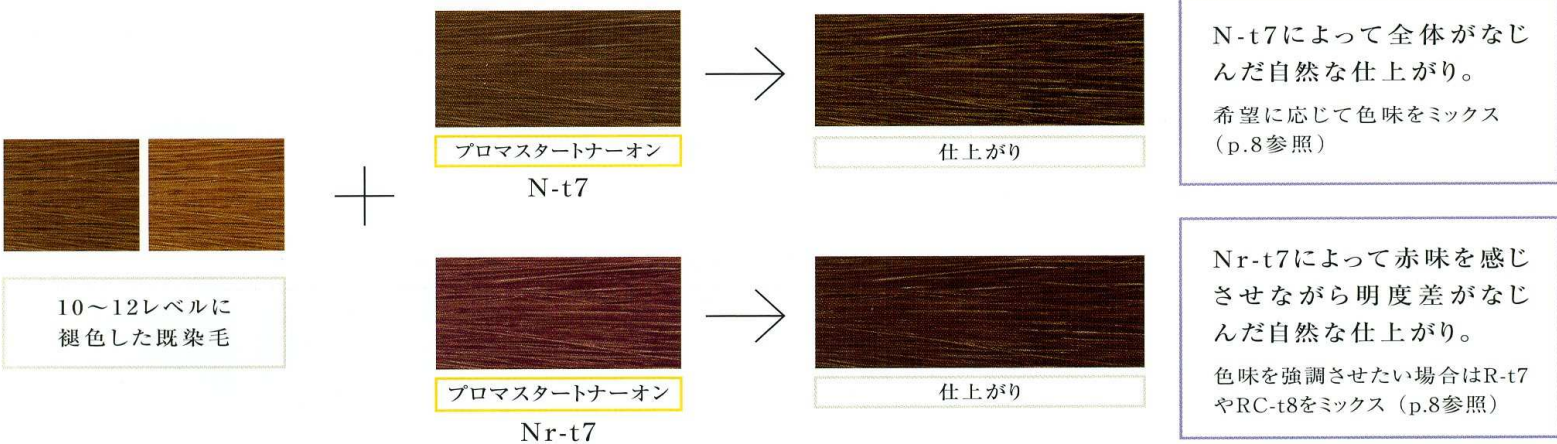
その後、新生部はプロマスター EX、既染部はプロマスター EX ピグメントでヘアカラー

プロセス



褪色してきているがまだ本格的に染めるには早い髪や、パーマ後褪色してしまった髪へプロマスタートナーオンで色素補充し、色持ち感を向上させます。

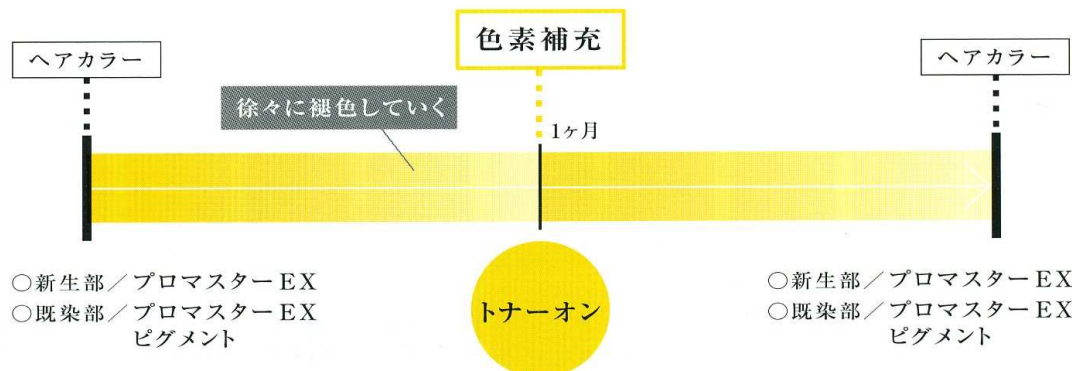
10~12レベルに褪色した既染毛へ色素補充



※アンダーレベルの状態や目的とする色味に応じて薬剤選定を行ってください。 ※希望明度に応じて9トーンラインやCL-tもご活用ください。

ヘアカラーサイクルの間に、トナーオン

ヘアカラーとヘアカラーの間に褪色してしまう髪へ、負担をかけずに色素補充ができ、常にきれいなヘアカラーを保ち次回へつなぎます。



ミックスガイド

COLOR LINE UP on WHITE HAIR

全17色+CL-t

	MT Monotone	N Natural	Na Natural a	Nc Natural c	Nr Natural r	Nv Natural v	A Ash	M Matte	G Gold	C Copper	RC Ruby Copper	R Ruby	RV Ruby Violet	V Violet	CL Clear
9															
8															
7															

CL-tミックス

※9トーンラインはCL-tとミックスすると色味が薄くなりすぎるのでおすすめしません。

プロマスタートナーオンは、希望色に応じてCL-tで色味の濃さを調節することが可能です。

トナーオン使用時の参考にしてください。

各色番：CL-t = 1 : 1



各色番：CL-t = 2 : 1



各色番：CL-t = 3 : 1












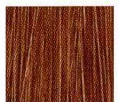






N-t7、N-t9ミックス

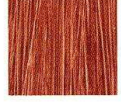















N-t7、N-t9と各色番とのミックスは、各色番の色味がやわらぎ、自然な色調へ調節できます。
色調を調節するときの参考にしてください。

	各色番:N系	A-t7	M-t7	G-t8	C-t8	RC-t8	R-t7	RV-t7	V-t7
N-t7 ミックス 	3:1								
	1:1								
N-t9 ミックス 	3:1								
	1:1								

N系バリエーションミックス

各色番に対応したN系バリエーションのミックスは、各色番の色味を感じさせながらも自然な色調へ調節できます。
色調を調節するときの参考にしてください。

A-t7 : Na-t7  	→	3:1 	1:1 
M-t7 : Na-t7  	→	3:1 	1:1 
G-t8 : Nc-t7  	→	3:1 	1:1 
C-t8 : Nc-t7  	→	3:1 	1:1 

RC-t8 : Nr-t7  	→	3:1 	1:1 
R-t7 : Nr-t7  	→	3:1 	1:1 
RV-t7 : Nr-t7  	→	3:1 	1:1 
V-t7 : Nv-t7  	→	3:1 	1:1 

プロマスター トナーオンの基本的な使用方法



カウンセリング
薬剤選定

お客様の希望を確認し、適切なトナーオンメニューを決定します。
同時に毛髪の明るさやダメージ度合いなどを確認し、薬剤の選定を行います。

プレーンリンス

プレーンリンスを行い、水気を切る程度に軽くタオルドライをします。

薬剤調合

プロマスタートナーオンは1剤:2剤(プロオキサイド2)を1:1の割合で調合します。
調合後は1剤と2剤を良く混ぜて使用してください。調合後の使用量の目安は
ショートヘアで約40g、セミロングヘアで約60g、ロングヘアで約80gです。 ※全て1剤、2剤の混合量

プロマスター
トナーオン
塗布

お客様を寝かせた状態のまま調合した薬剤を指先ですくい取り、
根元全体に塗布していきまます。
根元塗布後中間、毛先の順に塗布していきまます。

※手のひらに薬剤を取ると根元に薬剤がつきにくく塗布ムラの原因になります。
※塗布時は手袋の着用をお薦めします。
※塗布の順番は、毛髪の状態や使用する色調によって判断します。

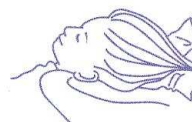
○はじめに
根元から



○根元の塗残しを
チェック



○ネープは下から
持上げる感じで



○毛先は
軽くもみこむ



放置

約5分自然放置します。
毛髪の状態や使用する色番によって放置時間を調節します。

シャンプー

プレーンリンス後プロマスターカラーケアシャンプーでワンシャンプーを行います。

プロマスター
カラーケアBf
塗布

シャンプー後軽く水気を切りプロマスターカラーケアBfを毛髪全体に塗布します。
毛髪全体にもみこみ泡立ったらすぐにプレーンリンスを行います。

トリートメント

プロマスターカラーケアヘアトリートメントを毛髪全体に塗布し、プレーンリンスを行います。

プロマスタートナーオン テクニカルポイント

POINT
1

毛髪の
アンダーレベルについて

プロマスタートナーオンの対象毛は8レベル以上の既染毛です。7レベル以下の毛髪に行った場合は仕上がりが分かりにくいことがあります。また従来のヘアカラーと同様にハイブリーチ毛の場合は思い通りの結果が得られにくいことがあります。

POINT
2

毛髪診断でのポイント

毛髪診断でのダメージレベルの見極めは重要です。表面の髪から毛束を取り指でつまみ、根元から毛先に向かって滑らせます。ざらつきを感じる部分は毛髪表面が荒れて染料を吸い込みやすい状態といえます。

POINT
3

タオルドライについて

乾燥しやすいダメージ毛にトナーオンを行う場合はタオルドライを行わずに塗布をしてください。毛先が乾いた状態で塗布を行うと仕上がりのムラの原因になります。特に寒色系使用時は注意してください。

POINT
4

寒色系使用時のポイント

ダメージの大きい毛髪やウェーブ毛は毛先が暗く沈みやすい傾向にあります。ダメージ部分への塗布は色味が入り過ぎないようにウェットの状態ですべて根元塗布後少し時間を置いてから塗布を行います。

プロマスタートナーオン Q&A

Q1

プロマスタートナーオンの対象毛は何レベルが目安ですか？

プロマスタートナーオンの対象毛は8～14レベルの既染毛が目安です。7レベル以下の既染毛は毛髪の色素量が多いので結果が分かりにくくハイブリーチ毛の場合は思い通りの結果が得られない場合があります。

Q2

なぜプロマスタートナーオンはウェットで使用しなければいけないのですか？

ドライの毛髪に使用すると薬剤の使用量が過剰に必要になったり仕上がりがムラになったりします。ウェット状態での塗布をお勧めします。

Q3

プロマスタートナーオンは白髪にも色素補充できますか？

プロマスタートナーオンは既染毛対象の微アルカリタイプです。毛髪の膨潤は必要最小限なので、新生毛の白髪にはトナーオンできません。(既染毛の白髪にはトナーオン可能です)

Q4

ヘアカラー後にトナーオンを行うときはいつシャンプーすれば良いですか？

ヘアカラー後のシャンプーは行わずにしっかりとプレーンリンスを行いプロマスタートナーオン放置後にワンシャンプーを行ってください。

Q5

プロマスタートナーオンのカラーチェックはどのように行いますか？

通常のヘアカラーと同様に毛束をとりコットンなどで薬剤をよく拭き取った後シャンプーブースで光を透かしてカラーチェックを行ってください。